

平成27年11月18日

学生論文賞 成功するプレゼンテーションのための心得

- 見やすいスライドを用意すること。
 - スライドの枚数に注意。「画面を見る、話を聞く、理解する」をすべてできるのは1～2分/枚である。
 - 字の色の選択、背景の色との組合せを考えることが必要。
 - 字体と字の大きさ、一度に読める字数と行数に注意。
 - 記載するグラフ等（図表含む）は、単位の明記、何を見せたいのか（グラフの目的、線や棒の動きで何を言わんとするのか）、複数の線を使う時の色分けをはっきりすること。
 - 写真を提示する際は、何を見せたいのかを述べてから提示すること。
 - 略語を使用する際は、簡単な説明をつけること。
 - パワーポイント（スライド）に依存しすぎないこと。
-
- 常に聴衆を意識する（見る）こと。
 - 説明をするときは、大きな声を出し、マイクに頼らないこと。
 - 話と話の間に、息継ぎの間隔を取り、単調な話し方にならないよう注意すること。
 - 説明を間違っても慌てず、熱意を持って話すこと。
-
- 会場の下見をしっかりすること。